

**「令和8年度 BI ツールを活用した地域公共交通施策の効果検証業務委託」
業務説明資料**

本業務説明資料に記載した内容は、本プロポーザルのみの設定条件とし、業務実施の条件とするものではありません。

1 件名

令和8年度 BI ツールを活用した地域公共交通施策の効果検証業務委託

2 履行期間

契約締結の日から令和9年3月31日（水）まで

3 履行場所

横浜市内

4 業務目的

本市では、誰もが移動しやすい地域公共交通の実現に向けて、「横浜市地域公共交通計画」に基づき、新たな地域公共交通（以下「おでかけシャトル」という。）の導入（横浜市みんなのおでかけ交通事業。以下「みんなのおでかけ交通事業」という。）や、バスネットワークの維持・充実に関する各種施策を推進している。これらの施策については、効果分析を行うとともに、「横浜市地域公共交通活性化協議会」（以下「協議会」という。）の委員をはじめとする関係者間で情報共有を図り、施策の評価および改善に取り組んでいる。

みんなのおでかけ交通事業の効果分析・評価にあたっては、運行地区から得られる利用実績データやアンケート結果等を基礎資料として活用し、BI ツール（Tableau）による可視化を通じて、分析および評価に活用可能なダッシュボードを構築している。

本業務では、本市が構築したダッシュボードを運用（データ更新・可視化等）し、みんなのおでかけ交通事業の効果を分析し、評価することを目的とする。

また、バスネットワークの維持に向けた再編案の検討を行うとともに、これらの成果を協議会等の関係者へ共有するための資料作成を併せて実施する。

<参考>

- ・横浜市地域公共交通計画

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/kotsu/toshikotsu/plan/chiki-kotsu-plan.html>

- ・横浜市みんなのおでかけ交通事業

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/kotsu/chiikikokyo/huyasu/aratanaseido.html>

5 本委託に関する前提条件

- (1) 本業務において使用する BI ツールは Tableau とする。
- (2) 本市からは、以下基礎データが貸与可能である。
 - ア 各地区人口構成
 - イ 地域特性データ（地形、道路幅員、道路勾配等）
 - ウ 各地区の利用実績データ
 - (ア) バス停別・便別・券種別の利用者数データ（18 地区分）
 - ・利用者数目安：1 地区あたり 20～80 名/日程度
 - (イ) 回数券 IC カード利用データ（14 地区分）
 - ・利用者の個人属性（個人 ID,年齢、性別、お住いのエリア）
 - ・個人 ID 別利用データ
 - ・回数券 IC カード利用者数目安：1 地区あたり 10～50 枚程度
 - (ウ) アンケート調査結果（集計データ 29 地区分）
 - ・アンケートは参考資料 2 参照
 - ・回答数目安は 1 地区あたり 1,000～2,000 件程度
 - (エ) 収支状況（18 地区分）
 - エ 効果検証・事業評価ダッシュボード
(Tableau パッケージワークブック (.twbx)、元データベース (Excel.csv))
- (3) (2) 以外で更新、分析に必要となるデータは本委託内で購入する。
- (4) 本市が過年度委託で作成したダッシュボードは提案資格を有すると認められたものへ、提案資格確認（書類審査）結果通知書（別紙 1）と共に、送付する。
- (5) 本委託は（4）で送付するダッシュボードの更新を行うものである。
- (6) 各種指標算定結果は、図面及び shp ファイルを提出する。
- (7) 本委託において、自社製品の開発等にかかる費用は一切負担しない。

6 業務概要

- (1) 計画書作成及び進捗管理
委託者と協議のうえ、全体工程、地区ごとの作業タスク等をまとめた計画書を作成し、進捗管理を行う。また、計画に変更が生じた際には随時計画書を変更する。
- (2) 打合せ
委託者及び受注者の打合せは、業務着手時、中間打合せ 3 回、成果品納入時の計 5 回とする。対面又はオンラインで実施する（1 回あたりの打合せ時間は 1 時間程度を想定している）。その他必要に応じて業務に関する協議を行う。
- (3) GIS データの更新
 - ア 基礎データ更新（市全域）
地図データ（オープンストリートマップ）、タクシー料金圏、商業施設・病院位置

(ジオテクノロジーズデータなど)、路線バス情報(運行本数、バス停位置、経路)等を更新する。(購入費含む。)

更新する主な基礎データ
<ul style="list-style-type: none"> ・地図データ：国土地理院地図(オープンストリートマップ) ・道路ネットワークデータ：ゼンリン ・市内バス路線 GTFS データ：ジョルダン、横浜市公開データ等 ・生活施設位置データ：ジオテクノロジーズ等 ・取組地区データ(面積(自治会町内会範囲含む)、人口)等 ・その他協議の上必要と判断したもの

イ 指標データ更新

「検討内容」の実施による与条件の変動(運行ルートや停留所等の新設・廃止・変更、取組地区のエリア変更 等)をふまえた指標データの算定、図面更新を行う。

(ア) 継続運行地区(指標データ修正地区)：10 地区

(イ) 新規運行地区(指標データ新規作成地区)：8 地区

検討内容	更新する主な指標データ
<ul style="list-style-type: none"> ・ア 基礎データ更新によるもの ・おでかけシャトルの導入、ルート変更 ・路線バスの再編・効率化 ・その他本市の指示によるもの 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通圏域(鉄道駅 800m、バス停 300m 圏域) ・最寄り駅まで 15 分圏域 ・最寄り生活利便施設まで 30 分圏域(商業施設、病院等) ・バス停までの高低差、地域の標高差 ・最寄り駅までのタクシー運賃圏域 ・最寄り駅までの時間的变化 ・最寄り駅まで金銭的的变化 ・効果の金銭価値化 <p style="text-align: right;">等</p>

※横浜市地域公共交通計画における評価の方向性と指標データについては、参考資料 1 参照。記載の無い指標データは、提案資格確認後に提示するダッシュボードを参照。

(4) ダッシュボード (Tableau) 運用・改良

ア ダッシュボードの運用

本市が過年度業務で作成したダッシュボードに、おでかけシャトルが運行している 29 地区から得られた利用実績、アンケート結果、指標データを速やかに反映し、各地区の状況や事業効果を可視化する。

(ア) 利用実績の反映：18 地区(うち IC カードによるデータ取得 14 地区)

(イ) アンケート結果の反映：29 地区

(ウ) 指標 (GIS) データの反映：18 地区

また、(3) で更新した GIS データについて、ダッシュボードに反映すること。

作業内容

- ・元データベースの更新
下記更新用データを、発注者が提示する元データベース（Excel.csv）に、形式を整備する。（地区の追加、欠測値・外れ値処理等も含む。）
- ・Tableau パッケージファイルの更新
発注者が提示する Tableau パッケージファイル(.twbx)を参考に、①のデータを追加し、ダッシュボードを更新する。

更新用データ

- ・おでかけシャトル利用実績（Excel）
運転士が乗降者数を記録した日報（手書き）を Excel 化したデータ。
- ・IC カード・カウントアプリデータ（CSV）
回数券 IC カードにより乗降者数、OD を記録したデータ。（おでかけシャトル運行地区の一部で実装中。）
- ・アンケート調査結果（Excel / CSV）
おでかけシャトル運行地区で、運行開始前、運行開始後に実施するアンケート
- ・GIS 算定指標データ（shp / Excel）
（4）の業務で更新した指標データ。

イ ダッシュボードの改良

（5）で分析・検討した結果に関して、表・グラフ・地図等を追加するとともに、既存部分の改良を必要に応じて実施する。また、本市の指示に基づき、ダッシュボードの操作性・視認性の向上に資する修正を実施する。

（5）分析・評価

おでかけシャトルの有効性を評価するために、IC カードによる利用実績やアンケートから取得した各種データにより、可視化された波及効果（外出頻度・意欲の変化を含む）について、その要因分析を実施すること。

さらに、同様の観点から、新たな波及効果の項目があれば、その検証方法と要因分析手法も併せて提案し、委託者と協議の上、実施すること。

また、地域公共交通計画の最終年度に行う、みんなのおでかけ交通事業の評価と制度の改善を見据え、費用対効果について検討する。加えて、金銭価値化が難しい定性的な効果などについての訴求力のある PR 手法を提案し、検討すること。

（6）関係者調整・説明資料等の作成

（3）～（5）の成果を整理し、地域公共交通活性化協議会、関係者説明、公表資料等で用いる資料（図表・考察・提案内容等）を作成する。（協議会は2回を想定。）

作成の際は必要に応じ、各種図面やダッシュボードの構成変更、分析指標に関する説明資料作成も行う。（本委託内の成果に関して取りまとめた資料作成など。会議の運営や全体資料の作成、議事録作成などは含みません。）

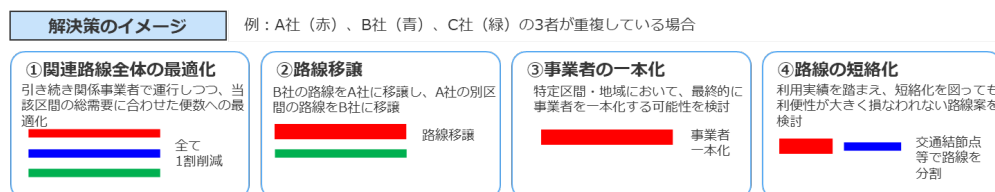
（7）路線バス路線の再編検討

ア 路線再編案の作成

過年度抽出した路線再編検討候補地区（複数運行事業者が重複運行する1地区）について、既存バスによる移動需要を基本とした路線再編案の作成し、想定される効果を検討する。

イ 過年度再編案の精査

過年度作成した路線再編案（1地区）について、事業者と協議を進める中で発生した路線再編修正作業及び協議資料の作成を実施。



(8) 成果品作成

「9 成果品の提出」を参照のこと。

7 想定スケジュール

本業務の想定スケジュールは以下のとおりである。

令和8年6月 契約締結・計画書作成

令和8年7～12月 ダッシュボード運用・改良、GISデータ更新、バス路線再編検討

令和9年12月～ 分析・評価とりまとめ

※ダッシュボード運用、関係者調整・資料作成は随時対応。地域公共交通活性化協議会は6月、3月に開催予定。

8 データの取扱い

- (1) 受託者は、本業務中において、目的の達成に必要な範囲を超えて個人情報保有してはならない。
- (2) データの取得、集計、分析、可視化に際して使用するツールについては、予め横浜市に相談すること。
- (3) 分析環境の整備にあたっては、セキュリティ対策ソフトウェアのウイルス定義ファイル及び更新プログラムを、適切なタイミングで更新すること。

9 成果品の提出

- (1) 報告書を製本、電子データ（CD-R）で各1部。
 - ・報告書の概要版も作成する。
- (2) 以下の成果品の電子データ（CD-R）に記録し提出することとする。（1部）
 - ・各種集計・作成データ（Excel、csvデータを基本とする）
 - ・地区ごとの集計結果を可視化したダッシュボード
（Tableauパッケージワークブック（.twbx）、元データベース（Excel.csv））
 - ・各種指標算定結果の図面及びshpファイル
 - ・その他、作成及び購入したデータ
- (3) 成果品に記載する法令や計算根拠、外部資料、及びデータ出典等はすべて明確にして

おくこと。

- (4) 成果品、作成した資料及びその著作権は横浜市の所有とし、受託者は横浜市の承認を得ずに使用又は公表することはできない。
- (5) 成果品の提出先は、横浜市道路・交通政策局交通政策課とする。

10 適用文書

(1) 「委託契約約款」

受託者は、本業務を遂行するにあたり、別記「委託契約約款」を遵守しなければならない。

(2) 「個人情報取扱特記事項」

受託者は、本業務において個人情報を取り扱う事務を行う場合には、別記「個人情報取扱特記事項」を遵守しなければならない。(個人情報を取り扱う必要のある提案や調整を行うこととなった場合は、横浜市個人情報保護審議会への報告が必要となり、取り扱い開始までに1～2か月程度を要するため工程等に留意すること。)

(3) 「電子計算機処理等の契約に関する情報取扱特記事項」

受託者は、本業務を遂行するにあたり、別記「電子計算機処理等の契約に関する情報取扱特記事項」を遵守しなければならない。

11 業務上の注意事項

- (1) 受託者は業務期間中の業務内容や導入システムの内容等を把握している担当者を置き、業務の報告等を逐次行うなど、委託者と定期的に連絡調整を行うこと。
- (2) 打合せ等は本業務の進捗に合わせて行う。打合せ時の議事概要を作成し、打合せ後すみやかに電子データで提出すること。打合せ等は、原則、横浜市庁舎において対面又は、テレビ会議システム等の活用により行う。
- (3) 業務の全部を再委託することはできない。
- (4) 受託者は、本業務において知った情報を他に漏らしてはならない。なお、契約期間満了後においても同様とする。
- (5) 本業務で委託者が提供したデータは、公表資料を除き返却すること。
- (6) 調査、データ収集等に用いる情報システムについては、以下の対策を実施すること。
疑義が生じた場合は、委託者と協議すること。

ア 脆弱性を悪用したサイバー攻撃被害を防止するため、定期的にセキュリティパッチを適用すること。緊急度の高いパッチはできるだけ速やかに適用すること。

イ ウェブアプリケーションに対する悪意ある攻撃を防止するため、WAF または同等のアプリケーション層の保護機能(仮想パッチなど)を利用すること。

ウ マルウェアの活動を検知・阻止するため、アンチウイルス対策(ウイルス対策ソフト等)を導入すること。

- エ 外部からの不正アクセスを防止するため、ポート制御や接続プロトコルの制御をファイアウォール等により実施すること。
 - オ システム障害、サイバー攻撃などにより情報資産が消失、利用不能になった際に元データを復元できるように、データのバックアップを行うこと。バックアップの頻度については、業務継続に支障が無いように、委託者と協議し決定すること。
 - カ 情報資産を廃棄する際は、情報資産流出を防止するため、物理破壊や消去ソフトによる複数回の上書き処理等の復元が容易でない方法でデータ消去を行うこととし、消去したことを委託者に報告書として提出すること。
 - キ システムの利用者を特定するため、1ユーザー1アカウントとすること。
 - ク インシデント発生時に原因や影響範囲を特定するため、障害等の調査に必要なログを取得し、保存すること。
 - ケ 情報漏洩、システム停止、マルウェア感染等のインシデント発生時に迅速かつ適切な対応を行うため、必要な対応体制（連絡体制の整備、専門人材の配置等）を確保すること。体制の規模及び対応範囲については、委託者と協議の上決定すること。
 - コ 生成 AI を利用する場合、プロンプト等を学習しない仕組みを備えたものを使用すること。
 - サ 不正アクセス等による重大な事故を防止するとともに、ID、PW が漏れたとしてもシステムに不正アクセスされないように、多要素認証または、接続できる IP アドレスの制限などを導入すること。
 - シ 内部不正や情報改ざん・漏洩を防止するため必要な最小限の権限のみを付与できるようにしていること。
- (7) 企業等から調達したデータ（人流・購買など）がある場合、当該事業の目的において横浜市で利用することを想定しているため、発注時にその旨の承諾を得ること。
- (8) 本仕様書上に記載のない事項又は疑義が生じたときは、委託者及び受託者で協議のうえ対応を決めること。

1 横浜市地域公共交通計画における評価の方向性

計画期間である5年後の令和11(2029)年度に向けて、横浜市全体の地域公共交通の「評価指標」を設定し取組を進めるとともに、各地域単位での「地域の診断の要素」を設けて継続的に取組の効果等を検証するなど、計画として総合評価を行っていきます。

地域公共交通の取組前後における目的地までのアクセス性の変化や利用状況の変化など、地域ごとに異なる多様な実態を関係者とともに捉えながら、地域の現状を診断し、その地域に適した施策を推進していく必要があるため、各地域における診断の要素(各地域単位での評価指標)を設定し、原則として毎年、継続的に評価を行います。

その中で、健康増進や地域交流の創出など波及効果も含めて検証し、取組の有効性についても評価を行います。

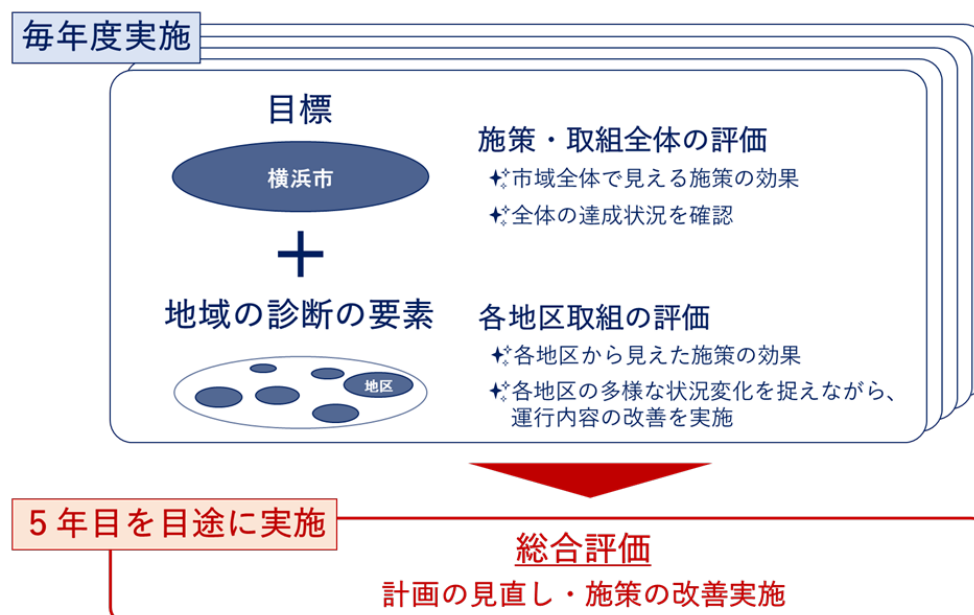


図1 評価体系イメージ

表1 取組前後における診断の要素

評価指標	ねらい	数値目標	分野
駅まで15分 達成人口 割合	朝夕の通勤通学需要に対応できているか →通勤・通学需要など速達性・利便性の確保 ※現状値：令和6年4月時点	<現状値> 92.3% <目標値> <u>維持</u>	・定住促進 ・商業
導入及び 維持した 路線数	・日中のお出かけ時間帯の需要に対応できているか →生活に基本的に必要なアクセス性の確保 ・バスネットワークの維持とともに、交通が不便な地域へ地域公共交通を導入し、市域全体で地域公共交通の充実を図れているか	<現状値> 33路線 <目標値> <u>84路線</u>	
新たな 支援地区数	・公共交通圏域外において、地域の取組意向や潜在的な移動ニーズなど、導入の必要性を確認できているか ・運行状況に応じ支援に取り組んでいるか	<目標値> <u>50地区程度</u>	
バス運転士数の 充足率	路線バスの維持に必要な運転士数が確保されているか ※充足率：各事業者の運転士定員に対する運転士数	<現状値> 94.3% <目標値> <u>100%</u>	
外出が 増加した 地区数	地域公共交通の導入により市民の外出を促せているか →外出促進、健康増進、地域交流の創出等	<目標値> <u>50地区程度</u>	・医療福祉 ・商業 ・地域コミュニティ
利用促進に 関する 取組件数	地域公共交通への支援を通じて、関係者間で理解を深め、取組の裾野が広がっているか ※現状値は現行中期計画の数値	<現状値> 52件/年 <目標値> <u>増加</u>	・教育 ・福祉 ・地域コミュニティ
公共交通 分担率	マイカー利用から地域公共交通利用(自転車含む)への転換を促せているか →Co2削減、交通事故減少、最寄駅周辺の活性化 (把握方法：パーソントリップ調査(令和10(2028)年度実施、令和11(2029)年度公表見込み)を用いて評価を想定)	<現状値> 50.2% <目標値> <u>増加</u>	・環境 ・交通安全 ・商業

表2 各地域における診断の要素

段階	評価時期	診断の要素	評価方法（例）	把握方法	
取組前	現状診断	アクセシビリティ ・最寄り駅及び生活利便施設等への移動負担の程度（距離、所要時間、利用料金など）	—	統計データ等の活用	
		地域特性 ・人口構成（年少、生産年齢、高齢者人口） ・標高差 ・道路情報（幅員、勾配等） ・周辺の公共交通の情報			
		生活実態 ・波及効果で捉える事項の現状把握		アンケート調査 ・実態データの取得	
取組後	直接効果	運行によるアクセシビリティの変化		統計データ等の活用	
		物理的な変化 （駅・バス停の距離） →公共交通圏域の変化割合 （面積、カバー人口など）	公共交通圏域のカバー人口変化 ○人→○人		
		時間的な変化 （駅や生活利便施設までの時間）	○分→○分		
		金銭的な変化 （駅までのタクシー運賃など）	○円→○円		
		原則 年1回	運行本数	○便/日	利用状況データの取得
		利用状況 ・利用者数 ・利用傾向 ・頻度 等	○人/日		
		運行収支 ・運賃収入 ・運行経費 ・補助金交付額等	運行経費○円 運賃収入○円 補助金交付額○円		
	その他、地域固有の指標 例：商業施設等の来場者数、地域イベント参加者数	—			
	外出頻度の変化 ・外出頻度 ・外出意欲	地区内で変化した人の割合+○%			
	波及効果	運行後 3年目 5年目 時点など	人との関わりの変化 ・家族、友人との交流 ・地域活動への参加 ・社会活動	地区内で変化した人の割合+○%	アンケート調査 又は 左記効果分析が可能なデータの取得
ウェルビーイング ・健康状態の変化 ・生活満足度の変化					
マイカーの利用頻度の変化					
高齢者の免許返納割合の変化					

2 主な指標データ

(1) 公共交通圏域（駅 800m・バス停 300m 圏域）

駅から 800m、バス停から 300m 以内を、歩いて公共交通を利用できる公共交通圏域として示す指標。市内のどこが「公共交通圏域」または、「公共交通圏域外」か、を把握するとともに、施策の効果（圏域が広がったか、圏域カバー人口が増えたか等）を評価する基礎となる。

実際の歩行ルート（道路ネットワークによるルート計算）で到達可能範囲（駅 800m / バス停 300m）を計算。勾配による速度低減も考慮。125m メッシュ単位で整理。

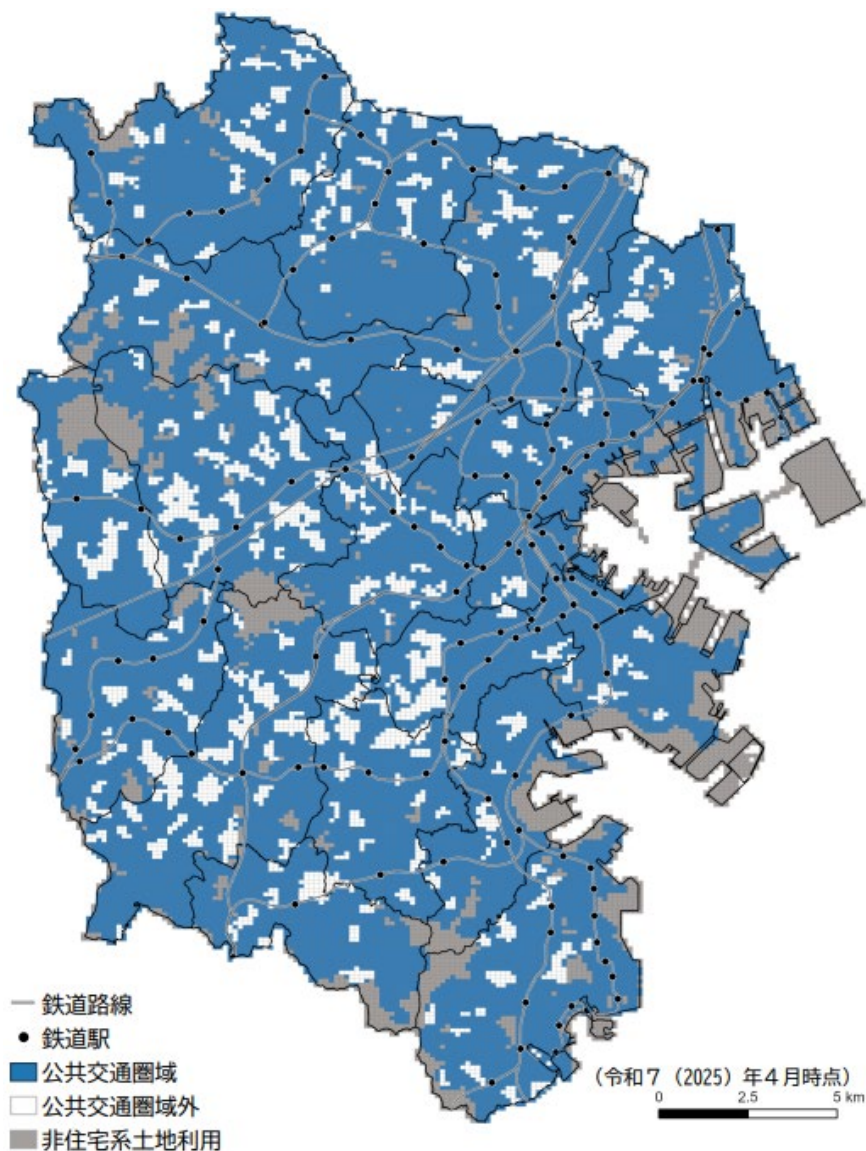


図2 公共交通圏域図（125m メッシュ）

(2) 最寄り生活利便施設まで 30 分圏域

最寄りの生活利便施設（「商業施設」「医療施設」「福祉施設」）までの時間的な移動負荷を評価する指標として、30 分以内の到達可否について算定したもの。

施策の効果（圏域が広がったか、圏域カバー人口が増えたか等）を評価する。

実際の歩行ルート（道路ネットワークによるルート計算）で、徒歩とバスの利用での到達可能範囲を計算。勾配による速度低減も考慮。125m メッシュ単位で整理。

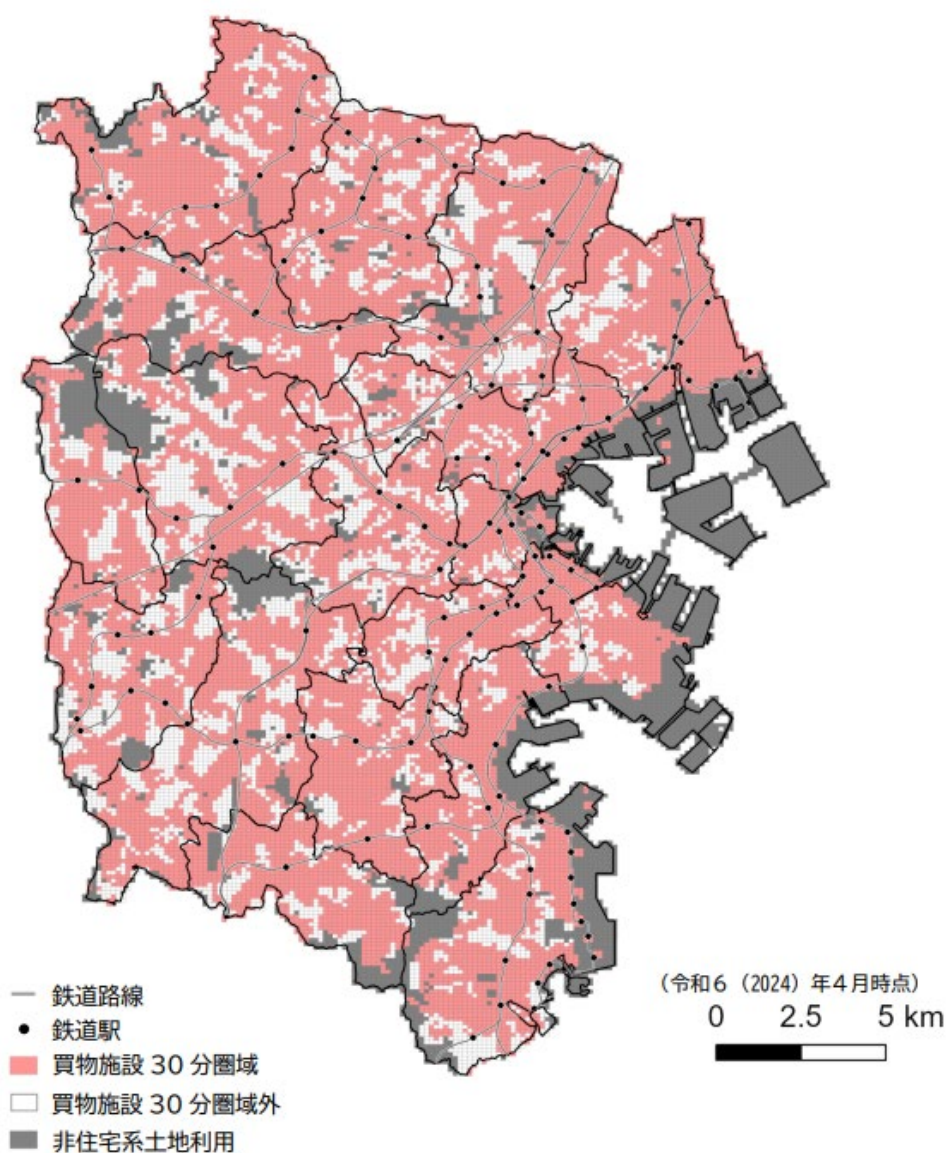


図 3 買物施設（スーパーマーケット）まで 30 分圏域

(3) 最寄り駅まで15分圏域

最寄り駅まで15分以内に行くことのできる「駅まで15分圏」の人口割合を算定する基礎となる。

最寄り駅まで15分圏域の算定条件は下記の通り。

- ・自宅から最寄り駅までの所要時間とする。
- ・平日の通勤時間帯（概ね午前7時から8時）を対象時間とする。
- ・上記の時間帯に利用できる駅を最寄り駅の対象駅とする。
- ・交通手段としては、徒歩及びバスを利用することを前提とし、二輪車・自動車利用は対象としない。
- ・バス停留所における待ち時間は考慮しない。
- ・新交通システムにはバスによるアクセスはないものとする。
- ・ゴルフ場、大規模緑地・広域公園等、米軍接収地、ふ頭等の臨港地域など、将来にわたって住宅地となることが想定されない地域は、対象としない。

新たな地域交通の検討に関するアンケートにご協力をお願いします！

おでかけシャトル導入前アンケート

令和●年●月
●●連合自治会
都市整備局地域交通推進課
●●区●●課

●●地区では、地域の皆さまから、日ごろの買い物や通院などの外出に利用する交通手段を求める声が多く寄せられており、高齢化が進む中で、関心が一層高まっています。

そこで、●●連合自治会・町内会では、横浜市と連携して、新たな地域公共交通(おでかけシャトル)の導入について検討を始めました。

検討にあたり、地域の皆さまの移動に関するニーズを把握するため、日ごろの外出状況などについてアンケート調査を行うこととなりました。

ご回答いただいた内容は横浜市が集計・分析し、今後、地域の皆さまと議論を重ねながら「おでかけシャトル」の導入に向けた検討を進める際、地域のニーズに即した運行を実現するための重要な資料として活用させていただきますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

【対象者】

●●自治会・町内会のエリアにお住まいの方

【回答期限】

令和●年●月●日(●)まで

【回答方法】

次の①または②の方法によりご回答ください。

① スマートフォンまたはパソコンで回答

下記 URL または右記二次元コードからウェブサイトアクセスし、アンケートフォームからご回答ください。

(URL)

② アンケート用紙で回答

右側及び裏面の回答用紙にご記入いただき、お住まいの自治会・町内会の●●(班長、組長等)にお提出ください。

【注意事項】

・アンケートは1人1回答です。アンケート用紙は、1世帯に●枚配布しています。足りない場合は、コピーしていただくか、スマートフォンまたはパソコンでご回答ください。

・回答内容は統計的に処理され、個人が特定されることはありません。なお、いただいたご意見・ご質問への個別の回答は行いません。

・回収した回答用紙は、集計・分析後、横浜市が責任をもって廃棄します。

・ご不明な点は、下記お問合せ先までお気軽にお問い合わせください。

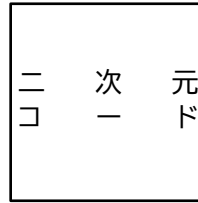
【お問合せ先】

<アンケートの配布・回収に関すること>

●●連合自治会 ●● ●●
電話:***-**-**** Eメール:●●●●●

<アンケートの内容に関すること>

横浜市都市整備局地域交通推進課 ●● ●●
電話:045-671-3800 Eメール:●●●●●
○○区○○課 ○○
電話:045- - Eメール:●●●●●



二次元コード

キ
リ
ト
リ
線

回答用紙

参考資料2

【問1】 あなたご自身についてお伺いします。

(1) 所属している自治会・町内会を記入してください。(未加入の方は記載不要)
自治会・町内会名:() 班名()

(2) 性別を1つ○で囲んでください。

1. 男性 2. 女性 3. その他

(3) 年齢をご記入ください。

() 歳

(4) ご職業について、最も近いものを1つ○で囲んでください。

1. 会社員・公務員等 2. 自営業 3. アルバイト・パート 4. 学生
5. 専業主婦・主夫 6. 無職 7. その他()

(5) 自動車運転免許証の保有状況について、現在の状況に最も近いものを1つ○で囲んでください。

1. 持っている(返納を考えていない)
2. 持っている(数年以内に返納を考えている)
3. 持っていない(返納した)
4. 持っていない(取得したことがない等)

(6) 敬老特別乗車証(敬老パス)はお持ちですか。

1. 持っている 2. 持っていない

※敬老パスは、高齢者の方々が豊かで充実した生活を送るための支援の一つとして発行している乗車証で、市内にお住まいの70歳以上の希望される方に交付しているものです。(所得に応じた負担金が必要です)。

【問2】 日常の外出についてお伺いします。

(1) 日常の外出で困っていますか。該当するものを1つ○で囲んでください。

1. 困っている 2. 困っていない 3. 今は困っていないが将来的に不安がある

(2) (1)の設問で「1. 困っている」または「3. ~将来的に不安がある」と回答された方にお伺いします。

具体的にどのようなことで困ったり、不安に感じていますか。該当するものをすべて○で囲んでください。

1. 自宅からバス停まで遠い 2. 自宅からバス停までに高低差がある
3. 自宅から駅まで遠い 4. 自宅から駅までに高低差がある
5. 目的地まで移動する交通手段がない
6. その他()

アンケートは裏面に続きます

(3) 日常の外出先についてお伺いします。

質問項目	回答欄		
	1 番目	2 番目	3 番目
①あなたが日常的によく外出する場所を3つ選び、外出頻度が高い順に選択肢の番号を回答欄に記入してください。 ※電車で目的地に向かう場合は、利用する自宅からの最寄り駅を選んでください。 1. ●●駅(鉄道利用) 2. ●●駅周辺施設 3. ●●病院 4. ●●(福祉施設) 5. ●●(商業施設) 6. その他 ※地区ごとに具体的な施設名を記載してください。	※その他を選んだ場合は具体的な名称を下の欄に記入してください (その他)	(その他)	(その他)
② ①へ行く外出頻度に最も近いものをそれぞれ1つ選び記入してください。 1. 毎日 2. 週5～6日 3. 週3～4日 4. 週1～2日 5. 月に2日程度 6. 月に1日程度			
③ ①へ行く <u>主な曜日</u> をそれぞれ選び記入してください。(複数選択可) 1. 月曜日 2. 火曜日 3. 水曜日 4. 木曜日 5. 金曜日 6. 土曜日 7. 日曜日 8. 不定期			
④ ①へ行く <u>主な目的</u> に最も近いものをそれぞれ1つ選び記入してください。 1. 通勤 2. 通学 3. 買い物 4. 通院 5. 散歩 6. レジャー(余暇活動) 7. 習い事(塾、料理教室など) 8. 社会活動(自治会・ボランティア活動等) 9. その他			
⑤ ①へ行く際の <u>主な移動手段</u> をそれぞれ1つ選び記入してください。 1. 徒歩のみ 2. 自転車 3. バイク 4. バス 5. タクシー 6. 自家用車(自分で運転) 7. ご家族による送迎 8. ご家族以外による送迎 9. シェアリングサービス(※) (※)シェアリングサービスとは、自動車や自転車等を所有せず、必要なときだけ借りて利用するサービスのこと。			
⑥ ①へ出発する <u>主な時間帯</u> をそれぞれ記入してください。	午前・午後 ()時台	午前・午後 ()時台	午前・午後 ()時台
⑦ ①から帰宅する <u>主な時間帯</u> をそれぞれ記入してください。	午前・午後 ()時台	午前・午後 ()時台	午前・午後 ()時台

キ
リ
ト
リ
線

このスペースに対象地区のエリア図やイメージ写真を掲載するなど

【問3】 新たな地域交通「おでかけシャトル」の利用意向についてお伺いします。

あなたがお住いの地域と、日常よく利用する近隣の目的地(例:商業施設、病院、駅など)を結ぶ新たな地域交通「おでかけシャトル」が導入され、運賃が300円から400円程度*で利用可能となった場合、この交通手段を利用したいと思いますか。該当するものを1つ○で囲んでください

*敬老パスの提示で、半額程度(150円から200円程度)で乗車可

1. ぜひ利用したい
2. 状況によっては利用したい
3. あまり利用しないと思う
4. まったく利用しないと思う
5. わからない

【問4】地域の交通について、日頃感じていることやご意見などがあればご自由にお書きください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

●●●●の利用状況に関するアンケート調査

令和●年●月

●●連合自治会

横浜市都市整備局地域交通推進課

●●区●●課(←入れる場合は区に確認してください)

おでかけシャトル導入後1年目アンケート

現在実証運行中の●●●●(おでかけシャトル)に、多くのご支援・ご協力をいただきありがとうございます。より多くの方にご利用いただけるよう、現在、運行計画の改善を検討しています。

つきましては、皆さまのご意見をお伺いし、地域のニーズを踏まえた改善の検討が進められるため、アンケート調査を行うこととしました。ご回答いただいた内容は、今後の運行計画の改善に向けた重要な資料として活用させていただきます。地域のニーズに合った運行を確保するため、ぜひご協力をよろしくお願いいたします。

実証運行の 概要
スペースが小さいため、別紙で配布するなど、地区ごとに工夫してください

【対象者】 ●●自治会・町内会のエリアにお住まいの方

【回答期限】 令和●年●月●日(●)まで

【回答方法】

次の①または②の方法によりご回答ください。

① スマートフォンまたはパソコンで回答

下記 URL または右記二次元コードからウェブサイトにアクセスし、アンケートフォームからご回答ください。

(URL) _____

② アンケート用紙で回答

右側及び裏面の回答用紙にご記入いただき、お住まいの自治会・町内会の●●(班長、組長等)にお提出ください。

【注意事項】

・アンケートは1人1回答です。アンケート用紙は、1世帯に●枚配布しています。足りない場合は、コピーしていただくか、スマートフォンまたはパソコンでご回答ください。

・ご回答いただいた内容は、統計的に処理され、個人が特定されることはありません。なお、いただいたご意見・ご質問への個別の回答は行いません。

・回収した回答用紙は、集計・分析後、横浜市が責任をもって廃棄します。

・ご不明な点があれば、下記お問合せ先までお気軽にお問い合わせください。

【お問合せ先】

アンケートの配布・回収に関すること	アンケートの内容に関すること
●●連合自治会 ●● ●● 電話:***-***-**** Eメール:●●●●	横浜市都市整備局地域交通推進課 ●● ●● 電話:045-671-3800 Eメール:●●●● ○○区○○課 ○○ 電話:045- - Eメール:●●●●

回答用紙

参考資料2

【問1】あなたご自身についてお伺いします。

① 所属している町内会名・班番号をご記入ください。(未加入の方は記載不要)

自治会・町内会名:() 班:()

② 性別 1. 男性 2. 女性 3. その他

裏面あり

③ 年齢 () 歳

④ 敬老特別乗車証(敬老パス)はお持ちですか。

1. 持っている 2. 持っていない

→ 「1. 持っている」と回答した方に質問します。敬老パスを所持したきっかけは、「敬老パス」が○○○○へ適用され○○○円で乗車するためですか。

1. はい 2. いいえ

※敬老パスは、高齢者の方々が豊かで充実した生活を送るための支援の一つとして発行している乗車証で、市内にお住まいの70歳以上の希望される方に交付しているものです。(所得に応じた負担金が必要です)。

⑤ 日常の移動についてご回答ください。

(○○○○(←地域交通愛称)を利用していない方もご回答ください)

質問項目	回答欄		
	1 番目	2 番目	3 番目
あなたの外出の目的のうち多いものから順に3つ、回答欄に選択肢の番号を記入してください。 1. 通勤 2. 通学 3. 買い物 4. 通院 5. 散歩 6. レジャー(余暇活動) 7. 習い事(塾、料理教室など) 8. 社会活動(自治会・ボランティア活動等) 9. その他			
外出頻度に最も近いものをそれぞれ1つ選び記入してください。 1. 毎日 2. 週5~6日 3. 週3~4日 4. 週1~2日 5. 月に2日程度 6. 月に1日程度			

【問2】今回の実証運行の取組についてお伺いします。

① ○○○○の運行を知っていましたか。

1. はい→②、③、④を回答 2. いいえ→⑤を回答

② ①で「1. はい」と回答した方にお伺いします。○○○○の運行は何で知りましたか。

1. 町内会の回覧又は掲示板(チラシ等) 2. 横浜市記者発表 3. 横浜市ホームページ
4. ポスター 5. 広報よこはま 6. SNS 7. タウンニュース
8. 友人・知人(口コミ等) 9. 車両や停留所を見かけて 10. その他()

③ ○○○○に対する満足度をお答えください。

1. 満足 2. やや満足 3. やや不満 4. 不満 5. わからない

④ 満足度の理由をご記入ください。

⑤ ①で「2. いいえ」と回答した方にお伺いします。地域の情報等を得る際に、あなたが主に利用している情報源があれば教えてください。

【問3】〇〇〇〇の利用状況についてお伺いいたします。

①〇〇〇〇の利用状況についてお伺いします。

1. 現在利用している【問3-1を回答】
2. 過去に利用していたが、現在は利用していない【問3-2を回答】
3. 一度も利用したことがない【問3-2を回答】

【問3-1】問3①で「1. 現在利用している」と回答した方にお伺いします。

① 〇〇〇〇の利用頻度について最も近いものをお答えください。

1. 週5日
2. 週3～4日
3. 週1～2日
4. 月に2, 3日
5. 月1日以下

②〇〇〇〇の主な利用目的をお答えください。(複数回答可)

1. 通勤
2. 通学
3. 買い物
4. 通院
5. 散歩
6. レジャー(余暇活動)
7. 習い事(塾、料理教室など)
8. 社会活動(自治会・ボランティア活動等)
9. その他()

③生活圏内で〇〇〇を使って出かける行先を上位3つまでお答えください。

- 1 ()
- 2 ()
- 3 ()

④ 〇〇〇〇実証運行が始まる前(令和〇年〇月時点)の移動手段をお答えください。(1つのみ選択)

1. 徒歩のみ
2. 自転車
3. バイク
4. バス
5. タクシー
6. 自家用車(自分で運転)
7. ご家族による送迎
8. ご家族以外による送迎
9. シェアリングサービス(※)
10. その他()

※シェアリングサービスとは、自動車や自転車等を所有せず、必要なときだけ借りて利用するサービスのこと

⑤ 〇〇〇〇の最寄りバス停名とバス停までの徒歩での所要時間をお答えください。

バス停名：() 徒歩での所要時間：() 分程度

⑥ 他の移動手段ではなく、〇〇〇〇を利用する理由をお答えください。(複数回答可)

1. バス停が自宅の近くにある
2. 座って移動できるので楽
3. 免許を返納した
4. 車の運転など、他の移動手段に不安がある
5. 地域の取組を応援したい
6. 同乗者との交流ができる
7. 健康のために外出したい
8. 運賃が安い
9. よく行く場所へ行きやすい
10. その他()

⑦ 回数券ICカードを利用していますか。利用している場合はICカード裏面の番号もご回答ください

1. はい(ICカード番号：)
2. いいえ

【問3-2】問3①で「2. 過去に利用していたが、現在は利用していない」、「3. 一度も利用したことがない」と回答した方にお伺いします。

① 〇〇〇〇を利用しない理由をお答えください。(複数回答可)

1. 移動に困っていない
2. 運行曜日・時間帯が合わない
3. 運行ルートが合わない
4. バス停が遠い
5. 利用方法が分からない
6. 満員で乗れないかもしれない
7. 運賃が高い
8. 支払方法が不便
9. 運行していることを知らなかった
10. その他()

② 買い物や駅への移動で普段よく利用している移動手段をお答えください。(1つのみ選択)

1. 徒歩のみ
2. 自転車
3. バイク
4. バス
5. タクシー
6. 自家用車(自分で運転)
7. ご家族による送迎
8. ご家族以外による送迎
9. シェアリングサービス(※)
10. その他()

※シェアリングサービスとは、自動車や自転車等を所有せず、必要なときだけ借りて利用するサービスのこと

【問4】 〇〇〇〇の実証運行が始まる前(令和〇年〇月時点)と比べた外出の変化についてお伺いします。(〇〇〇〇をご利用していない方もご回答ください。)

① 外出頻度は変化しましたか。

1. 増えた
2. やや増えた
3. 変化はない
4. やや減った
5. 減った

② 外出意欲は変化しましたか。

1. 高まったと思う
2. やや高まったと思う
3. 変化はないと思う
4. やや下がったと思う
5. 下がったと思う

③ 外出頻度や外出意欲の変化の理由をお答えください。(複数回答可)

1. 〇〇〇〇の実証運行が開始され、移動の選択肢が増えたから
2. 外出目的が増えた(減った)から
3. 体力的に楽に(辛く)なったから
4. 気分や考え方が前向き(後ろ向き)になったから
5. その他()

【問5】〇〇〇〇に対する改善希望をご記入ください。(任意回答)←地区によって削除や内容変更可能

① 運行してほしい目的地(1箇所)とその利用頻度をご記入ください。(自宅周辺の日常生活圏に限る)

1. 週5～7回
2. 週3～4回
3. 週1～2回
4. 月に2, 3回
5. 月1回以下

② 運行してほしい曜日をご記入ください。() 曜日

③ 運行していない時間帯で利用したい時間帯をお答えください。(複数回答可)

運行している時間:9時～12時、13時～17時

1. 7時台
2. 8時台
3. 12時台
4. 17時台
5. 18時台
6. 19時台
7. 20時台

④ 現金以外でのご希望の支払方法がありましたらお答えください。(複数回答可)←事業者に選択肢の支払い方法が可能か確認が必要

1. クレジットカード
2. 交通系電子マネー
3. バーコード決済
4. その他()

⑤ 新たに設置してほしい停留所の場所をご記入ください。

()と()の間、()付近) 例：停留所①と停留所②の間

【問6】地域内での身近な交通手段に関する要望・ご意見があればご記入ください

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

●●●●の利用状況に関するアンケート調査

令和●年●月

●●連合自治会

おでかけシャトル導入後3年目アンケート

横浜市都市整備局地域交通推進課

●●区●●課(←入れる場合は区に確認してください)

現在実証運行中の●●●●(おでかけシャトル)に、多くのご支援・ご協力をいただきありがとうございます。より多くの方にご利用いただけるよう、現在、運行計画の改善を検討しています。

つきましては、皆さまのご意見をお伺いし、地域のニーズを踏まえた改善の検討が進められるため、アンケート調査を行うこととしました。ご回答いただいた内容は、今後の運行計画の改善に向けた重要な資料として活用させていただきます。地域のニーズに合った運行を確保するため、ぜひご協力をよろしくお願いいたします。

実証運行の概要

記入スペースが小さいため、別紙で配布するなど、地区ごとに工夫してください。

【対象者】 ●●自治会・町内会のエリアにお住まいの方

【回答期限】 令和●年●月●日(●)まで

【回答方法】

次の①または②の方法によりご回答ください。

① スマートフォンまたはパソコンで回答

下記 URL または右記二次元コードからウェブサイトアクセスし、アンケートフォームからご回答ください。

(URL) _____

② アンケート用紙で回答

右側及び裏面の回答用紙にご記入いただき、お住まいの自治会・町内会の●●(班長、組長等)にお提出ください。

【注意事項】

- ・アンケートは1人1回答です。アンケート用紙は、1世帯に●枚配布しています。足りない場合は、コピーしていただくか、スマートフォンまたはパソコンでご回答ください。
- ・ご回答いただいた内容は、統計的に処理され、個人が特定されることはありません。なお、いただいたご意見・ご質問への個別の回答は行いません。
- ・回収した回答用紙は、集計・分析後、横浜市が責任をもって廃棄します。
- ・ご不明な点があれば、下記お問合せ先までお気軽にお問い合わせください。

【お問合せ先】

アンケートの配布・回収に関すること	アンケートの内容に関すること
●●連合自治会 ●● ●● 電話:***-***-**** Eメール:●●●●●	横浜市都市整備局地域交通推進課 ●● ●● 電話:045-671-3800 Eメール:●●●●● 〇〇区〇〇課 〇〇 電話:045- - Eメール:●●●●●

回答用紙

参考資料2

【問1】あなたご自身についてお伺いします。

① 所属している町内会名・班番号をご記入ください。(未加入の方は記載不要)

自治会・町内会名:() 班:()

② 性別 1. 男性 2. 女性 3. その他

③ 年齢 () 歳

④ 敬老特別乗車証(敬老パス)はお持ちですか。

1. 持っている 2. 持っていない

→「1. 持っている」と回答した方に質問します。敬老パスを所持したきっかけは、「敬老パス」が〇〇〇〇へ適用され〇〇〇〇円で乗車するためですか。

1. はい 2. いいえ

※敬老パスは、高齢者の方々が豊かで充実した生活を送るための支援の一つとして発行している乗車証で、市内にお住まいの70歳以上の希望される方に交付しているものです。(所得に応じた負担金が必要です)。

⑤ 自動車運転免許証の保有状況について、現在の状況に最も近いものを1つ〇で囲んでください。

1. 持っている(返納を考えていない)
2. 持っている(数年以内に返納を考慮している)
3. 持っていない(返納した)
4. 持っていない(取得したことがない等)

→「2. 持っている(数年以内に返納を考慮している)」または「3. 持っていない(返納した)」と回答した方に質問します。あなたが運転免許を返納した、または返納の予定ありとした理由に、

・「〇〇〇〇の実証運行が始まったこと」は影響していますか。

1. はい 2. いいえ

・「敬老パス」が〇〇〇〇へ適用され〇〇〇〇円で乗車できることは影響していますか。

1. はい 2. いいえ

⑥ 日常の移動についてご回答ください。(〇〇〇〇(←地域交通愛称)を利用していない方もご回答ください)

質問項目	回答欄		
	1 番目	2 番目	3 番目
あなたの外出の目的のうち多いものから順に3つ、回答欄に選択肢の番号を記入してください。 1. 通勤 2. 通学 3. 買い物 4. 通院 5. 散歩 6. レジャー(余暇活動) 7. 習い事(塾、料理教室など) 8. 社会活動(自治会・ボランティア活動等) 9. その他			
外出頻度に最も近いものをそれぞれ1つ選び記入してください。 1. 毎日 2. 週5~6日 3. 週3~4日 4. 週1~2日 5. 月に2日程度 6. 月に1日程度			

【問2】今回の実証運行の取組についてお伺いします。

① 〇〇〇〇の運行を知っていましたか。

1. はい→②、③、④を回答 2. いいえ→⑤を回答

裏面あり

② ①で「1. はい」と回答した方にお伺いします。〇〇〇〇の運行は何で知りましたか。

1. 町内会の回覧又は掲示板（チラシ等）
2. 横浜市記者発表
3. 横浜市ホームページ
4. ポスター
5. 広報よこはま
6. SNS
7. タウンニュース
8. 友人・知人（口コミ等）
9. 車両や停留所を見かけて
10. その他（_____）

③ 〇〇〇〇に対する満足度をお答えください。

1. 満足
2. やや満足
3. やや不満
4. 不満
5. わからない

④ 満足度の理由をご記入ください。

⑤ ①で「2. いいえ」と回答した方にお伺いします。地域の情報等を得る際に、あなたが主に利用している情報源があれば教えてください。（複数回答可）

【問3】〇〇〇〇の利用状況についてお伺いいたします。

① 〇〇〇〇の利用状況についてお伺いします。

1. 現在利用している【問3-1を回答】
2. 過去に利用していたが、現在は利用していない【問3-2を回答】
3. 一度も利用したことがない【問3-2を回答】

【問3-1】問3①で「1. 現在利用している」と回答した方にお伺いします。

① 〇〇〇〇の利用頻度について最も近いものををお答えください。

1. 週5日
2. 週3～4日
3. 週1～2日
4. 月に2, 3日
5. 月1日以下

② 〇〇〇〇の主な利用目的をお答えください。（複数回答可）

1. 通勤
2. 通学
3. 買い物
4. 通院
5. 散歩
6. レジャー（余暇活動）
7. 習い事（塾、料理教室など）
8. 社会活動（自治会・ボランティア活動等）
9. その他（_____）

③ 生活圏内で〇〇〇を使って出かける行先を上位3つまでお答えください。

- 1（_____）
- 2（_____）
- 3（_____）

④ 〇〇〇〇導入前の移動手段をお答えください。（1つのみ選択）

1. 徒歩のみ
2. 自転車
3. バイク
4. バス
5. タクシー
6. 自家用車（自分で運転）
7. ご家族による送迎
8. ご家族以外による送迎
9. シェアリングサービス（※）
10. その他（_____）

※シェアリングサービスとは、自動車や自転車等を所有せず、必要なときだけ借りて利用するサービスのこと。

⑤ 〇〇〇〇の最寄りバス停名とバス停までの徒歩での所要時間をお答えください。

バス停名：（_____） 徒歩での所要時間：（_____）分程度

⑥ 他の移動手段ではなく、〇〇〇〇を利用する理由をお答えください。（複数回答可）

1. バス停が自宅の近くにある
2. 座って移動できるので楽
3. 免許を返納した
4. 車の運転など、他の移動手段に不安がある
5. 地域の取組を応援したい
6. 同乗者との交流ができる
7. 健康のために外出したい
8. 運賃が安い
9. よく行く場所へ行きやすい
10. その他（_____）

⑦ 回数券ICカードを利用していますか。利用している場合はICカード裏面の番号もご回答ください

1. はい（ICカード番号：_____）
2. いいえ

【問3-2】問3①で「2. 過去に利用していたが、現在は利用していない」、「3. 一度も利用したことがない」と回答した方にお伺いします。

① 〇〇〇〇を利用しない理由をお答えください。（複数回答可）

1. 移動に困っていない
2. 運行曜日・時間帯が合わない
3. 運行ルートが合わない
4. バス停が遠い
5. 利用方法が分からない
6. 満員で乗れないかもしれない
7. 運賃が高い
8. 支払方法が不便
9. 運行していることを知らなかった
10. その他（_____）

② 買い物や駅への移動で普段よく利用している移動手段をお答えください。（1つのみ選択）

1. 徒歩のみ
2. 自転車
3. バイク
4. バス
5. タクシー
6. 自家用車（自分で運転）
7. ご家族による送迎
8. ご家族以外による送迎
9. シェアリングサービス（※）
10. その他（_____）

※シェアリングサービスとは、自動車や自転車等を所有せず、必要なときだけ借りて利用するサービスのこと。

③ 数年後、②で回答した移動手段が使えなくなった場合、生活に支障が出るとお考えですか。

1. 日常生活に大きな支障が出る
2. 多少支障はあるが代替手段がある
3. 支障は無い

④ ③で「2」と答えた方にお尋ねします。代替手段は〇〇〇〇ですか。

1. はい
2. いいえ（_____）

【問4】 〇〇〇〇 実証運行を始める前（令和〇年〇月時点）と比べた外出の変化についてお伺いします。（〇〇〇〇を利用していない方もご回答ください。）

① 外出頻度は変化しましたか。

1. 増えた
2. やや増えた
3. 変化はない
4. やや減った
5. 減った

② 外出意欲は変化しましたか。

1. 高まったと思う
2. やや高まったと思う
3. 変化はないと思う
4. やや下がったと思う
5. 下がったと思う

③ 外出頻度や外出意欲の変化の理由をお答えください。（複数回答可）

1. 〇〇〇〇交通の実証運行が開始され、移動の選択肢が増えたから
2. 外出目的が増えた（減った）から
3. 体力的に楽に（辛く）なったから
4. 気分や考え方が前向き（後ろ向き）になったから
5. その他（_____）

④ 友人・地域との関わりは変化しましたか

1. 増えた
2. やや増えた
3. 変化はない
4. やや減った
5. 減った

⑤ 心身の健康状態は変化しましたか

1. 良くなった
2. やや良くなった
3. 変化はない
4. やや悪くなった
5. 悪くなった

⑥ 生活満足度は変化しましたか

1. 良くなった
2. やや良くなった
3. 変化はない
4. やや悪くなった
5. 悪くなった

【問5】地域内での身近な交通手段に関する要望・ご意見があればご記入ください

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。